



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 北陸電気工業株式会社  
 コード番号 6989 URL <https://www.hdk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田守男  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 林 良徳  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 076-467-1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	23,125	21.9	44		145		279	
2020年3月期第3四半期	29,596	10.8	729	5.9	756	29.2	565	1.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 77百万円 ( %) 2020年3月期第3四半期 231百万円 (124.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	33.44	
2020年3月期第3四半期	67.54	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	35,210	12,326	35.0
2020年3月期	34,945	12,656	36.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 12,326百万円 2020年3月期 12,656百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		30.00	30.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	14.8	400	52.0	350	61.9	100	84.9	11.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年2月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	9,250,099 株	2020年3月期	9,250,099 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	880,158 株	2020年3月期	878,280 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	8,371,410 株	2020年3月期3Q	8,375,439 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、第1四半期には新型コロナウイルス感染拡大の影響により生産が停滞し個人消費が落ち込みましたが、第2四半期以降は財政拡大や金融緩和などの政策効果により総じて持ち直し基調で推移しました。しかし、年末にかけては感染が再び拡大し、先行き不透明感が強まりました。

わが国におきましては、緊急事態宣言解除後に個人消費が持ち直し輸出も増加に転じましたが、感染拡大が収束しないなか、回復の動きは弱いものとなりました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、生産拠点の操業規制および世界景気の悪化に伴い、自動車関連、産業・FA関連において生産が減少し、電子部品需要は減少しましたが、7月頃から持ち直しに転じ、自動車販売の回復や巣ごもり需要を背景に回復基調で推移しました。

こうした状況のなかで、当社グループにおきましては、新規分野への拡販活動を進める一方、固定費および諸経費の抑制に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、各品種総じて受注が前年同期比減となったことから、売上高23,125百万円（前年同期比△21.9%）、営業損失44百万円（前年同期は営業利益729百万円）、経常損失145百万円（前年同期は経常利益756百万円）となりました。

また、投資有価証券評価損208百万円を特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失279百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益565百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①電子部品

自動車関連向けに受注が減少したことを主因に、モジュール製品、抵抗器等各品種総じて売上が減少し、売上高22,471百万円（前年同期比△22.3%）、営業利益681百万円（同△53.7%）となりました。

#### ②金型・機械設備

金型はアミューズメントおよび車載向けに受注が減少したことにより、また、機械設備は設備投資の停滞により、それぞれ売上が減少したことから、売上高483百万円（同△20.4%）、営業利益13百万円（同△30.9%）となりました。

#### ③その他

商品仕入及び不動産業等にかかる事業であり、売上高335百万円（同△16.3%）、営業利益76百万円（同△11.7%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末に比べ、総資産は現金及び預金の増加を主因に264百万円増加し、負債は借入金の増加を主因に594百万円増加しました。

純資産は前連結会計年度末に比べ、330百万円の減少となりました。うち、株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純損失により279百万円減少し、剰余金の配当により251百万円減少したことから、532百万円の減少となり、その他の包括利益累計額は、その他有価証券評価差額金の増加および為替換算調整勘定の減少から202百万円の増加となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月7日に公表いたしました当年度の業績予想につきまして修正いたしました。

当該予想数値の修正に関する事項は、本日（2021年2月12日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,228	8,468
受取手形及び売掛金	7,648	7,984
商品及び製品	1,183	1,290
仕掛品	2,315	1,940
原材料及び貯蔵品	1,788	1,663
その他	1,279	940
貸倒引当金	△15	△16
流動資産合計	21,428	22,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,646	2,545
機械装置及び運搬具(純額)	3,555	3,140
土地	2,917	2,917
その他(純額)	309	270
有形固定資産合計	9,428	8,872
無形固定資産	498	415
投資その他の資産		
投資有価証券	983	1,106
繰延税金資産	1,434	1,397
その他	1,359	1,236
貸倒引当金	△188	△91
投資その他の資産合計	3,589	3,650
固定資産合計	13,516	12,938
資産合計	34,945	35,210

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,526	5,009
短期借入金	3,640	4,802
未払法人税等	172	—
賞与引当金	390	184
その他	1,304	1,367
流動負債合計	11,034	11,363
固定負債		
長期借入金	5,697	6,130
リース債務	476	371
繰延税金負債	0	2
再評価に係る繰延税金負債	327	327
退職給付に係る負債	4,631	4,571
その他	121	117
固定負債合計	11,254	11,520
負債合計	22,289	22,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,200	5,200
資本剰余金	5,039	5,039
利益剰余金	3,619	3,088
自己株式	△1,156	△1,158
株主資本合計	12,701	12,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△181	116
土地再評価差額金	685	685
為替換算調整勘定	△361	△494
退職給付に係る調整累計額	△187	△150
その他の包括利益累計額合計	△45	157
純資産合計	12,656	12,326
負債純資産合計	34,945	35,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	29,596	23,125
売上原価	25,117	19,776
売上総利益	4,479	3,348
販売費及び一般管理費	3,750	3,393
営業利益又は営業損失(△)	729	△44
営業外収益		
受取利息	51	40
受取配当金	48	20
雇用調整助成金	—	125
その他	100	183
営業外収益合計	200	369
営業外費用		
支払利息	53	40
休業費用	—	117
為替差損	20	259
その他	99	51
営業外費用合計	173	469
経常利益又は経常損失(△)	756	△145
特別利益		
固定資産売却益	1	1
保険解約返戻金	6	62
その他	1	4
特別利益合計	9	67
特別損失		
固定資産除却損	25	1
投資有価証券評価損	—	208
その他	3	1
特別損失合計	28	211
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	736	△288
法人税等	170	△8
四半期純利益又は四半期純損失(△)	566	△279
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	565	△279

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	566	△279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	298
為替換算調整勘定	△329	△133
退職給付に係る調整額	35	37
その他の包括利益合計	△334	202
四半期包括利益	231	△77
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	231	△77
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。また、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,917	374	29,292	304	29,596	—	29,596
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	232	232	96	328	△328	—
計	28,917	606	29,524	400	29,925	△328	29,596
セグメント利益	1,473	19	1,492	87	1,579	△850	729

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(株大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。
2. セグメント利益の調整額△850百万円には、セグメント間取引消去61百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△912百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,471	405	22,877	248	23,125	—	23,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	77	77	86	163	△163	—
計	22,471	483	22,954	335	23,289	△163	23,125
セグメント利益	681	13	695	76	772	△816	△44

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(株大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。
2. セグメント利益の調整額△816百万円には、セグメント間取引消去56百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△873百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。